

ほっと ボランティア

視覚障がい者と支援ボランティアとの日帰り旅行

三者交流会

5月16日、中津川市視覚障害者協会とその支援団体である音訳サークルさざなみ会・点訳サークルともしび会の三団体から35人が参加し、交流を深める日帰りバス旅行に出かけました。毎年の恒例行事となったこの三者交流会は今年で21回目となりました。

今年は東谷山フルーツパークと茶臼山にある芝桜の里を見学しました。



芝桜の丘では、時期が早かったのか二分咲きていた。ボランティアさんの声かけによって自然を満喫しました。

東谷山フルーツパークでは、世界各地の果物があり、昼食にはドラゴンフルーツなどの珍しい果物を食べ、「不思議な食感がする!」などの感想がありました。



シニア世代の活躍の場づくり 第1回シニアボランティア養成講座

6月14日と21日、アートピア付知交芸プラザで退職された方や、退職を控えた方を対象に「シニアボランティア養成講座」を開催し、6人が参加しました。

今回の講座は、1日目にボランティアについての基本を学ぶとともに、アイマスクを使用した歩行体験や食事体験、車イスの操作方法、基本的な介護技術、手話体験を行いました。

2日目には、市内で活躍する各ボランティア団体より、ボランティア活動へのきっかけや魅力などのお話やボランティアの活動場所となる施設を見学しました。この講座をきっかけに今後のボランティア活動に活かしていただけることを期待しています。



参加者の感想

- ・ボランティアを負担に感じないようにまずは自分が楽しむことが大切。
- ・自分も小さなことから出来ることをみつけていきたい。
- ・体験を通してボランティアをする人とされる人の両方の気持ちがあった。

阿木高校による

在宅介護支援の取り組み

中津川市立阿木高等学校では、授業の一環として家庭で介護されている方を支援するための『拘縮予防グッズ』を作成し、市内福祉施設や社協・市役所などに配布しています。

生徒の手作りによるこの拘縮予防グッズは手指の圧迫を和らげて爪で手のひらを傷つけることを予防する他、握りしめた手のひらが蒸れることも防止します。また、洗濯が可能で使いやすく利用者から好評です。



阿木高校では今後『拘縮予防グッズ』の作成に取り組み、在宅介護をしてみえる方の支援を行います。

市健康福祉会館の社協窓口にごさいますので、興味のある方はご自由にお持ちください!



第1回 災害ボランティア養成講座

災害時の福祉活動を地域で考えていくため、社協ふくおか支部との共催で、今年度第1回目の「災害ボランティア養成講座」を開催しました。

1日目は、6月25日に、下野いきいき会館で災害ボランティアに関する講演会を行いました。

講師に名古屋を拠点に防災ボランティア活動を行うNPO法人レスキューストックヤード常務理事 浦野愛氏を迎え「地元が主役！災害時のボランティア活動について」と題してお話いただき、64名が参加しました。講演の中で、災害時の地域の助け合い活動やボランティアの重要性について、ご自身の東日本大震災などの被災者支援活動をふまえてご講演いただきました。

参加者の方からは、「災害時は地元の力が大切だ。今から自分ができることを考えていきたい」など積極的な意見が聞かれました。



地元住民の方やボランティアさんなど多数参加していただきました!!



2日目は、7月11日に、下野いきいき会館で災害ボランティアセンター立上げ訓練を実施し、約40人の参加がありました。

中津川市で大災害が発生し、災害ボランティアセンターを開設したという想定で訓練を行い、災害ボランティアセンターのスタッフ役を市内の防災ボランティア団体のみなさんと社協職員が行い、地域の参加者のみなさんには被災者役、ボランティア役を交互に体験していただきました。

参加者からは「実際に体験することでよく理解できた」などの感想がありました。

つながる・ひろがる
ボランティア団体
紹介コーナー



「フレッシュユすみれの会」

(発足 H19・1 会員数17人)

平成19年にシルバー人材センター会員の有志で立ち上げました。会員は60歳代〜70歳代の健康な女性です。

現在は月1回第4火曜日に主に児童養

護施設麦の穂学園

でシーツを縫う裁

縫ボランティアや

遊歩道の清掃を実

施しています。

これからは、様々

な福祉施設での活動

その他必要とされ

る所がありましたら

ら参加したいと思

っています。



福祉ボランティアに関することは
社協地域福祉課にお気軽に
ご連絡ください

☎66-11111(内638)

